

2021年12月8日

川崎汽船株式会社

アンモニア燃料自動車運搬船の設計基本承認を共同取得

川崎汽船株式会社（以下、「当社」）はこの度、株式会社新来島どっく（以下、「新来島どっく」）と共同で、日本の船級協会である一般財団法人日本海事協会（以下、「NK」）よりアンモニアを燃料とする自動車運搬船の設計基本承認（AIP ; Approval in Principle）を取得しました。

アンモニア燃料は、燃焼時に二酸化炭素（CO₂）を排出しない燃料であるため、国際海事機関（IMO）の2050年のGHG削減戦略目標である「2008年比GHG総排出量50%削減」に大きく貢献する次世代船用燃料として注目されています。

本共同研究では、新来島どっく、NK、当社でアンモニアを燃料として使用する際の潜在的なリスク評価及び安全対策を策定しました。アンモニア燃料の安全性評価を踏まえ、新来島どっく、当社は、環境負荷低減と実運航上の要求の両立が可能となる船舶の開発に取り組みました。今後はアンモニア燃料の国際規則の動向やインフラ整備の状況を注視しつつ、具体的にアンモニア燃料船の検討を進めていく予定です。



（AIP授与式の様子）

(左から)

一般財団法人日本海事協会 業務執行理事 副会長 重見利幸様
株式会社新来島どっく 取締役 常務執行役員 技術設計本部長 田中義雄様
川崎汽船株式会社 執行役員 造船技術グループ長 中野豊久



(アンモニア燃料 PCC イメージ図)

当社は環境に関わる長期指針『“K” LINE 環境ビジョン 2050』(注1)の一部を見直し、新たな2050年目標として「GHG(温室効果ガス)排出ネットゼロに挑戦する」ことを決めました。世界の気候変動対策への強化は喫緊の課題となっており、各国政府や産業界において、2050年GHG排出ネットゼロを目指す動きが一段と加速しています。そのような中、当社グループも「2050年GHG排出ネットゼロ」という、より高い目標に挑戦してまいります。本研究もその取り組みの一つとして2050年のゴールに繋がるものです。

当社グループは、海運業を母体とする総合物流企業グループとして、「人々の豊かな暮らしに貢献する」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指し、環境負荷の低減に引き続き取り組んでまいります。

* (注1) 『“K” LINE 環境ビジョン 2050』の詳細は当社ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.kline.co.jp/ja/csr/environment/management.html#002>